

【会場1階】

<空調>

- ・空調が真ん中の方で「寒い」との声があった

<エレベーター>

- ・エレベーター前は1人は常駐が望ましい
- ・エレベーターを基本1階から4階のみとし地下へは階段の利用を促したのは良かった
- ・エレベーターは常時1階に降ろしておくことも必要。

<雨の日対策>

- ・雨の日は転倒対策。急遽、マット・モップを出してもらった。

<落とし物>

- ・「落とし物預かり場所」を急遽設置

<関係者席>

- ・今回プレス席は無しにしたが、結局スタッフ用に設けた「関係者席」を取材の方々が座っていた

<客席>

- ・後ろ側の席を事前に把握している参加人数に合わせて立入禁止席にした
- ・4階が終わったら席を解放し、4階のメンバーが座れるようにした
- ・4階から降りてきたメンバーが講演中に空き席を探す必要がなくなるため良かった
- ・来場者で聴覚障害の方が1人いらっしゃいました。手話通訳者を同伴されていたのでわかりました。ユニバーサルデザイン（UD）が社会に広がってきてはおりますが、タバマチも広く地域に広げていくために、より進められるといいなと思いました。逆に、「情報保障あり」と明記しているイベントは、難聴の方などが足を運びやすくなるということも聞いたことがあります。

参考：<https://www.youtube.com/watch?v=20mbl-cMaA0&feature=youtu.be>

【会場4階】

- ・企業展示については総じて混乱はなく進行できた
- ・ゴミの処分や搬出時の集荷などの対応はありがたい

<誘導、人の流れ>

- ・1階から誘導いただけのもよかった

- ・プログラム通り来場者の流れがあり分かりやすかった
 - ・4階から1階への誘導は、声を張り上げてのものだったので、マイクを借りておけばよかったでしょうか(全館放送ができれば)
 - ・意外と階段を利用して降りる人も多かった
 - ・1階も4階も人の流れる時間帯が休憩中など、予測通りだったため大きな戸惑いはなかった
 - ・4階にいる方を「間もなく講演が始まります。1階へ！」と声を張り上げ案内した。
- 4階専用のマイクがあるといい
- ・会場で司会者が「あと5分で始まります」と案内する声が建物全体に聞こえるようにする
 - ・今後もっと参加人数が増えた際の4階への誘導方法(やはり、袖近くのエレベーター活用なども今後視野に入れておくことも必要かなとも思いました。

<映写>

- ・非常によかった
- ・正面に設置できればなおよしです
- ・音声については、最初音量が小さいかなと感じましたが、途中でスピーカーを交換してただけで良くなった
- ・来年は始めから全体に聞こえるスピーカーにして良い
- ・くちビルディングの時のみ切り替えした

<スタッフ休憩>

- ・比較的声掛け合いながらスムーズに入ることができた。

<運営>

- ・くちビルディングが午後の講演が始まる時間に、終わらなかった
- ・来年同じようなイベントが昼休憩を使って行う場合は会場系のタイムキーパーが必要か

【舞台】

<マイク>

- ・ワイヤレスマイクのハウリング。2本中、もう1本のマイクをオフにしてもハウリングは起きた
- ・場所によって干渉する場所、しない場所があったみたい
- ・演者は有線マイクとコードレスマイクの両方を演台に置いておくと、コードレスを使ってしまうようなので、有線だけを置くようにしないといけない
- ・下手壁側付近で、特に中盤～後半域付近で干渉した
- ・来年からは演者は有線マイクが基本、どうしてもの場合のみ、ワイヤレスを徹底した方が

いい

- ・有線マイクの方が音を拾いやすかった
- ・今回、マイクテストを藤巻と新城でやったが、このノウハウは他の人物も知っておくべき。また、マイクテストを当日の朝一でいいので、演者当人達と一度は行いたい。
- ・今演者が持っているマイクは何番のマイクなのか？把握出来て無かった(除くワイヤレス)。仮にトラブルがあった場合の対処が遅れる。
- ・把握する為には、ステージ袖の人(常駐)と二階ブースのやり取りは必須。ただそこまでやるには前日に今の準備時間では足りない…。
- ・当日二本のワイヤレスマイクの電池は新品に変えて対応していた。(通常は電池の不具合によるハウリングも多い)
- ・ワイヤレスのハウリング件、使用していない場合、マイクの OFF は鉄則。
- ・ワイヤレスの音量は二本のワイヤレスに対して、音量は1つしか無いので一本ずつの調整は出来ない環境。その為、今回のハウリングのハッキリした理由は不明。
- ・来年は質疑応答以外での使用はワイヤレスマイクの使用は極力控えた方が良い
- ・動画の音声を PC から直接音響設備に入力すれば、一つ原因を減らせるかと思います。もしかすると、PC やプロジェクターの位置等も踏まえて、検討した結果今回はこのようにせざるを得ない状況だったのかもしれないですが。

<PC>

- ・4階の配信用 PC としてコータロー先生の PC を使っていましたが、コータロー先生の外出中にスリープに入ってパスワードがなくて PC を使えない状態になった
- ・このため、こずえちゃんからバックアップ用に借りていた VAIO を使って4階の午後の配信は問題なく行うことが出来た
- ・大井先生が自身の PC の AC アダプタを自宅に忘れられてしまい、バックアップ利用を想定していたこずえちゃんの VAIO をすでに4階の配信で使ってしまったため、井階先生の PC を使って大井先生の午後のプレゼンは行った
- ・午後の小菅先生の PC はスリープからの復帰ではプロジェクターに上手く出力が出来ない相性問題がありましたので、お昼休みに流す動画は途中から止めて、小菅先生の PC の画面のままで午後に突入することで問題が起こらないようにした
- ・何にしてもバックアップ用の PC は一台準備しておくことが必要ですね。

<照明>

- ・基本的に堀尾さん以外は演者側だったのですが、実は事前にその打ち合わせがなかったので焦った
- ・今後を考えると、司会者と演者の立ち位置の把握は行いたい

・場転の合わせ、もしくは場転の Q の確認を 1~2 回目したい。各セクションの始まりと終わりさえ確認できれば、あとはなんとか対応できるが、終わりよければ~にならないと、観客に良い印象を残せない

・フォーラムのいいところは観客と一体になって論じる場所。今回、なかなか難しかったのが、観客と絡みつつ、またスライドに戻る場所。そういう動きがあることを把握できるとスムーズに、客電の調光ができると考える

・最後の照明の場所はイマイチ意味がわかりにくかったので、聞いてみたところ以下のようには言っていました。

大井先生が、下平さんとの絡みを終えて、観客側と絡んだと思ったら、またパワポに戻ったので。そうすると、何を主役にするかが変わると、舞台の明るさ、客電の明るさの対比が変わってしまいます・思いつきと流れに沿うのはある程度は良いし、しょうがないんだけど

・なんだかんだ、対応は大変なので、可能性があるか否かだけ知っておけると緊張感を持って対応できる。

<プロジェクター>

・今回二階のプロジェクターが使用できるという事で、オープニング映像と音と一緒に出せた事は凄く良かった

<その他>

・「エンディングロール」をせっかく当日編集し「今日のダイジェストバージョン」で作って流していたので終わりまで見て行ってもらう声かけしても良かった

・エンディングは当日の写真を取り込みながら五島先生が締めステージに上がる時間ギリギリまで作成している状態なため、誰か代行出来ればと感じた。

・演台・椅子等セッティングは位置に合わせてテープを張っておくなどの工夫があったので非常にわかりやすかったです。一方、実際に動かすスタッフの中で、事前に実際には動かしてみたりしていなかったのが、次はこれで良かったか？など、やや戸惑いがありました。プログラムに合わせて動かしてみるリハーサルを行っておくと良かったです

【受付】

・入り口は、こちらからみて右側一本に絞ってもよかったかと。二つの入り口があったので、どちらも入られる。しかしながら、高田馬場からいらっしゃるお客様が圧倒的に多かったのが、こちらからみて、左の扉から入ってくる方ばかりです。

この場合、受付は、反対側にあり、お客様は、まっすぐ歩いてこられるので、一部案内係の方の協力も経て、受付に誘導しているということもございました。

もし、右側一本だけなら、そのままお客様は、まっすぐいらっしゃれば、受付ですので、導線としては、その方がスマートだったと感じました。

・ピーテックスのおかげで、仮に右側扉のみの開放でも、2人で、対応し、漏れたお客様は、テーブル対応で十分可能と思いました。

【その他】

・T シャツ。名簿にないが手伝っていただいた、登世子先生・辻さん・リク君を入れて 25 枚でピッタリ。逆に新食研メンバー優先との事でしたので、枚数に余裕がなく映像・音響で来てくださった 3 名には行き渡らなかった。

・学生の外回りのプラカード持ちは、必ず最低 3 名は必須